



幼稚園だより 11月号

令和4年10月31日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

HP <http://www.chuo-ky.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

<実りの秋 旬の季節を楽しむ>

園長 山口 晃司

秋が深まり、木々が色付き始めました。我々の服装も、半袖から長袖シャツに。朝晩は、上着やコートがほしくなってきました。関東甲信越の山間部や北海道では、早くも雪の便りが届いているようです。そのような中、幼稚園では、サツマイモやサトイモの収穫を楽しみ、ダイコンやカブ、キャベツにハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、コマツナ、スナップエンドウ豆、チューリップ、水仙、ヒヤシンスと冬野菜や花の植え付け、種まきも行いました。今年度は、周辺地域の再開発工事に伴う影響もあるのでしょうか、はたまた野生動物にとって農薬がかかっていない安全な食べ物がある場所と認識されているのか分かりませんが、例年に比べ、思うように収穫ができません。しかし、視点を変えれば、タヌキやハクビシン等の野生動物も生息する多様性のある地域であるとも考えられます。勝どきの橋のたもとでタヌキが歩いていたとの目撃情報もありますね。さて、10月末に、年長組がとよみ畑でサツマイモを掘りました。蔓も旺盛で葉も青々としていたので大きなイモがたくさん採れるだろうと期待していました。子どもたちは、蔓を引っ張り、土を掘って、楽しみながらイモ掘りをしましたが、期待外れでほとんどイモが採れませんでした。年長組の子どもたちは、「おイモパーティーはできないかもしれない」「マルエツに買いに行けばいいんじゃないか」等、様々な話が出たそうです。最後は、「園長先生に相談しよう」と意見がまとまり、私の所に、年長組みんなが来ました。そこで私は、「知り合いの農家さんに、子どもたちがおイモパーティーをしたいのですが、サツマイモが採れなかったので何とかありませんかとお願ひするね」と伝えました。それから数日後に、年長組の部屋に様々な大きさ・形のサツマイモが届きました。子どもたちはホッとした様子で、「これで年少組・年中組さんに招待状が渡せる」と張り切って、各お部屋にお知らせに行くということがありました。

自然と関わると、自分たちの思い通りにならないことや様々なアクシデント、気付き、発見があります。これらの体験を通して、幼児は、自然への親しみ、不思議さ、愛情を抱くと共に、物の性質や仕組み、季節の変化等に気付き、科学的な見方や考え方の芽生えを培うこととなります。このことは、小学校での生活科・理科へ通じます。ご家庭でも、お子さんと一緒に身近な公園や広場で季節を感じ楽しんでみましょう。ドングリ拾いはもとより、「もみじ狩り」と言うように、色とりどりに紅葉する葉を見付けるのも楽しいです。家庭の中でも、毎日の食卓で自然を感じることができます。特に日本は四季があります。子どもたちの幼稚園での経験を生かして、旬の野菜を食べたり、サンマ・サケ・カツオ等の旬の魚を味わったりして季節を楽しめます。秋から冬に季節が変化するこの時期、親子で様々な発見、楽しいひとときを過ごしてほしいと願っています。

<各学年のねらいと主な活動>

年少組	年中組	年長組
○自分のやりたい遊びを繰り返したり、友達と関わって遊んだりすることを楽しむ。 ○自分なりの動きを出しながら、みんなと遊ぶことを楽しむ。	○健康に過ごすための生活の仕方が分かり、自分から進んで行う。 ○自分の思いを言葉や動きで伝えたり、友達の思いを聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○学級のみんなで声を合わせて歌う気持ちよさやリズムが揃う楽しさを味わう。	○友達からの刺激を受け、自分の目標に向かって力を出したり、友達と力を合わせたりしながら体を動かす楽しさを味わう。 ○学級の友達と気持ちを合わせて歌ったり、合奏したりする満足感を味わう。
主な活動 ・自然物を使った遊び、製作 ・楽器遊び ・リズム「ドングリマン」	主な活動 ・楽器遊び ・ゲーム「猛獣狩り」「じゃんけん列車」	主な活動 ・ドッジボール ・短縄跳び ・自然物を使った遊び ・楽器遊び



